

## 往年の名車が白石を駆け抜ける

ラ・フェスタ ミッレ ミリア2010

本年で14回目となるアジア最大の公認国際クラシックカーレース「ラ・フェスタ ミッレ ミリア2010」が、10月9日から12日の期間で開催され、今年も白石にクラシックカー約100台がやってきました。1927年にイタリアで生まれ、今世紀に受け継がれた、古き良きモータースポーツの祭典です。

10月10日、スタンプポイントとなった白石城では、風間市長、甲冑工房片倉塾の皆さん、往年の名車や著名人を見ようと駆けつけた多くの市民などが、通過する車に大きな声援を送っていました。



▲沿道の声援に笑顔で応える堺正章さん

## おいしい秋 みつけた!

レトロフェスタ&鍋食べまくり



▲白石商工会議所提供の「片倉鍋」をほおぼる来場者

10月11日、すまいるひろばと城下広場の2カ所を会場に、「レトロフェスタ&鍋食べまくり」(白石商工会議所主催)が行われました。クラシックカーの展示やボンネットバス試乗ができる「レトロフェスタ」と、(株)カキヤ・県内6商工会議所が地元の自慢鍋を提供する「鍋食べまくり」を同時開催。秋晴れの下、市内外から多くの方が訪れ、おいしい秋を楽しんでいました。

当日は、「ボーイスカウト祭り」やS.A.Pによる「白い町のメロディ」、「我がまち“しろいし”大写真展」なども開催され、思い思いの「秋」を満喫していました。

## 全国屈指の「激坂」に挑む

第24回みやぎ蔵王高原マラソン大会

9月19日、南蔵王野営場で「第24回みやぎ蔵王高原マラソン大会」が開催されました。今年の大会には、昨年を約100人上回る約1,400人が出場。絶好のコンディションの中、5種目で大会記録が更新されました。また、本市から出場した榊原遥さん(白石中1年)と榊原姫香さん(白一小6年)が、中学女子3kmの部と小学女子3kmの部で、姉妹そろって優勝しました。

今回の大会ではこれまでと趣向を変えて、大会前日に開会式を兼ねたウエルカムパーティーをすまいるひろばで開催。約180人が白石の味覚や雰囲気を楽しみました。



▲最後の力を振り絞ってゴールへ(親子ペア3kmの部)

## 地域みんなで子どもとふれあう

第一児童館で「いっかんまつり」



▲青空の下でシャボン玉を楽しむ子どもたち

10月2日、晴天に恵まれた第一児童館で「いっかんまつり」を開催しました。おまつりには、子どもたちにいろいろな遊びを楽しんでもらおうと、親の会をはじめ、すぎのこ母親クラブや白石市更生女性会白石支部、ジュニアリーダーの皆さんが協力。各コーナーとも手作りで、的当てやくじ引きなどにも一工夫を加えて、訪れた約200人の子どもたちを楽しませていました。

また、「エコ」をテーマにした今回のおまつり。子どもたちに資源を大切にすることを覚えてもらおうと、ごみを出さない取り組みも合わせて行いました。

## 水泳競技を通して交流を深めました

姉妹都市親善水泳大会2010

9月19日、スパッシュランドしろいしで「姉妹都市親善水泳大会2010」を開催しました。北海道登別市、神奈川県海老名市、特別参加の南三陸町、本市から計55人の小学生が参加し、水泳競技を通して交流を深めました。

10種目が行われた今大会。各種目で熱戦が繰り広げられ、男子50m平泳ぎで登別市の中谷優貴くんが36秒95、女子50m背泳ぎで海老名市の花原優香さんが35秒84の大会新記録を樹立。本市から参加した選手も女子50m自由形で戸羽日和子さん(福岡小6年)、女子50m平泳ぎで我妻紗和さん(福岡小6年)が優勝しました。



▲ゴール前でラストスパートする選手

## 市民一人一人が「白石の広告塔」に!

ポストDCに向けて「おもてなし研修会」を開催



▲佐藤継信・忠信の妻女に扮して「おもてなしの心」をPR

9月28日、仙台・宮城観光キャンペーン白石市推進協議会(佐藤善一会長)が主催する「おもてなし研修会」が、いきいきプラザで開催されました。平成25年のDC再誘致に向けて、市民一人一人が「あたたかいおもてなしの心」を持って観光客をお迎えしようと企画された研修会に、商店街などから約80人が参加しました。斎川の甲冑堂に伝わる物語を基に、観光案内所職員が「おもてなしの心」を伝える寸劇を披露。また、講師の星加代子さん(ウエルランズ代表)から「お客さまを思う心が原点」という話もあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 実りの秋!

西保育園で秋の味覚「ブドウ」を収穫

9月21日、西保育園の園庭で、ブドウ棚のナイアガラが実りの秋を迎え、5歳児の園児15人が収穫作業を行いました。同園のブドウ棚は、12年ほど前に、園庭の西側にナイアガラの古木1本が植えられているのを見つけ、ブドウ栽培に詳しい佐藤英雄さん(福岡八宮)が使われなくなったブランコの支柱を利用して整備しました。

園児たちは、たわわに実ったブドウを一房一房丁寧に切り離し、「甘いにおいがする」と満足そうな笑顔を見せ、早速、この日のおやつで大粒の実をほお張りほほほしていました。



▲ブドウの手に満足そうな笑顔を見せる園児

## 85年の歴史に感謝を込めて

ミヤコーバス「七ヶ宿線」感謝式



▲小原小の児童から運転手に花束が手渡されました

大正14年から約85年間、小原地区の「足」となっていたミヤコーバス「七ヶ宿線」が廃止されることになり、運行最終日となった9月30日、小原小の「学校下」停留所でこれまでの功労をたたえる感謝式が行われました。式には、小原小の児童や小原地区自治会連合会、小原温泉旅館組合の会員など約50人が出席。午後3時50分、停留所にバスが到着すると、小原小の児童から「長い間ありがとうございます」との言葉と一緒に、花束が運転手に贈呈されました。10月からは、市民バス「きゃっするくん」が新しく運行し、小原地区の「足」を支えていきます。